




Dell Command | Update

バージョン 2.3 ユーザーズガイド



メモ、注意、警告

-  メモ: 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  警告: 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2009 - 2016 すべての著作権は Dell Inc. またはその子会社にあります。 This product is protected by U.S. and international copyright and intellectual property laws. Dell and the Dell logo are trademarks of Dell Inc. in the United States and/or other jurisdictions. All other marks and names mentioned herein may be trademarks of their respective companies.

2016 - 11

Rev. A00

目次

| | |
|--|-----------|
| 1 本書について | 5 |
| 新機能..... | 5 |
| 2 セットアップ | 6 |
| 概要..... | 6 |
| Dell Command Update のインストール..... | 6 |
| アンインストール Dell Command Update..... | 6 |
| Dell Command Update のアップグレード..... | 7 |
| サイレントインストール..... | 7 |
| アクティビティログ..... | 7 |
| アクティビティログの表示とエクスポート..... | 8 |
| 3 Dell Command Update – はじめに | 9 |
| ヘッダバナー..... | 9 |
| 左側ペイン..... | 10 |
| コンテンツ領域..... | 10 |
| 高度なドライバの復元..... | 10 |
| 4 Dell Command Update の使用 | 11 |
| ドライバライブラリのダウンロードとインストール..... | 11 |
| アップデートのチェックとインストール..... | 11 |
| アップデートの選択..... | 12 |
| アップデートのカスタマイズ..... | 13 |
| 依存関係のインストール..... | 14 |
| 非表示のアップデート..... | 15 |
| 使用可能なアップデートのリストからのアップデートの削除..... | 15 |
| 使用可能なアップデートのリストへのアップデートの復元..... | 15 |
| アップデート履歴..... | 16 |
| システムの復元..... | 16 |
| アップデートの履歴の表示..... | 16 |
| システム情報の表示とエクスポート..... | 16 |
| Dell Command Update コマンドラインインタフェースオプション..... | 16 |
| CLI リファレンス..... | 17 |
| CLI スイッチの組み合わせの使用..... | 19 |
| 5 Dell Command Update 設定 | 26 |
| 一般設定..... | 26 |
| アップデートソースの場所..... | 27 |
| アップデートチェックのスケジュール作成..... | 27 |
| アップデートフィルタ設定の実行..... | 28 |
| 設定のエクスポートまたはインポート..... | 28 |
| ポリシーファイル..... | 28 |



| | |
|---|-----------|
| ポリシーファイルの作成..... | 28 |
| policy.xml ファイルデータの例..... | 29 |
| ポリシーファイルへの設定の追加..... | 29 |
| ポリシーファイルからの設定の削除..... | 30 |
| 詳細ドライバ復元の設定..... | 31 |
| 6 Dell サポートサイトからの文書へのアクセス..... | 32 |
| 7 デルへのお問い合わせ..... | 33 |
| 8 付録 : Microsoft System Center Configuration Manager コンソールからの Dell Command Update の使用..... | 34 |
| バージョン 2.2 より前の Dell Command Update の前提条件..... | 34 |
| Dell Command Update バージョン 2.2 以降の前提条件..... | 34 |
| Microsoft System Center Configuration Manager からの Dell Command Update の使用..... | 35 |

本書について

Dell Command | Update を使って、Dell システムを最新のドライバ、BIOS、ファームウェア、および Dell ソフトウェアのアプリケーションでアップデートします。

本ガイドに加えて、参照用に必要なその他の製品ガイドがあります。これらは、Dell サポートウェブサイト dell.com/support/manuals にあります。

- ・ 『*Hardware Owner's Manual*』（ハードウェアオーナーズマニュアル）は、システム、システムコンポーネントの取り付け、およびシステムのトラブルシューティングに関する情報を提供します。

新機能

本リリースで、Dell Command | Update は次の機能を提供します。

- ・ 独立系ソフトウェアベンダー（ISV）認定ドライバのアップデートのサポート。
- ・ Dell ドッキングソリューションに関連付けられたすべてのアップデートの選択およびインストールのサポート。
- ・ 新しい CLI の戻りコード：5（再起動やスキャンが必要）のサポート。

セットアップ


本項では、Dell Command | Update を使用するために必要な前提条件および要件を記載しています。また、このツールの概要、インストールとアンインストールの手順も説明されています。

概要

Dell Command | Update は、Dell クライアントシステムを最新のドライバ、BIOS、およびファームウェアでアップデートするために使用することができるグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) およびコマンドラインインターフェース (CLI) ツールです。これは1対1のスタンドアロンユーティリティです。

Dell Command | Update を使用する利点は次の通りです。

- ・ Dell クライアントシステムのシステム管理とアップデートを単純化します。
- ・ このツールの使用が容易な CLI は、ドライバのインストールとアップデートの自動化に使用できます。
- ・ システムに適切なドライバとアップデートを識別して適用するために役立つ、使い勝手の良い GUI を提供します。

 **メモ: Dell Command | Update を実行するには、NET 4.0 またはそれ以降のバージョンが必要です。**

Dell Command | Update のインストール

手順を開始する前に、Dell Command | Update をインストールするクライアントシステムに管理者権限でログインしていることを確認してください。

Dell Command | Update のダウンロード :

1. **dell.com/support** にアクセスします。
2. **Dell Command | Update 2.3** を検索します。
3. **Systems-Management_Application_<XXXXX>_WN32_<###>_A00.exe** をダウンロードします。

Dell Command | Update をインストールするには :

1. デルサポートサイトからダウンロードした .exe ファイルをダブルクリックします。
2. インストールをクリックします。
3. ようこそ画面で次へをクリックします。
4. ライセンス契約画面でライセンス契約の条件に同意しますを選択してから、次へをクリックします。
5. インストールの開始画面でインストールをクリックします。
6. インストール完了画面で終了をクリックします。
7. **OK** をクリックします。

アンインストール Dell Command | Update

プログラムのアンインストールについての情報は、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

Dell Command | Update のアップグレード

次の方法で、Dell Command | Update (元は Dell クライアントシステムアップデート) 2.2 を前のバージョンからアップグレードすることができます。

1. **セルフアップデート** : ようこそ 画面の **チェック** 機能を使用してアップデートをチェックします。詳細については、「[アップデートのチェックとインストール](#)」を参照してください。
2. **手動アップデート** : dell.com/support から Dell Command | Update2.3 をダウンロードしてインストールします。

新しいバージョンの Dell Command | Update がある場合、**推奨アップデート** の下に最新バージョンの Dell Command | Update がリストされます。アップデートを選択して、アプリケーションの新しいバージョンをインストールします。

マイナーなアップグレードの場合は、すべての設定およびポリシー設定は保持されます。メジャーなアップグレードの場合は、アプリケーションがアンインストールされ、設定、およびデータが削除されます。

サイレントインストール

次の方法を使用して、Dell Command | Update のサイレントインストールを実行することができます。

- ・ インストールコマンドラインを使用したサイレントインストールには、コマンド `—DCU_Setup_2_3_0.exe /s /v"/qn"` を使用します。
- ・ Dell Update Packages (DUP) を使用したサイレントインストールには、実行ファイル `Sys-Man_Application_XXXXX_WN_y.y.y_A00.exe /s` を使用します。

アクティビティログ

アクティビティログ機能は、システムにインストールされたアップデートを表示し、障害や問題を追跡するために役立ちます。Dell Command | Update で生成されたアクティビティログは、次のように分類されます。

- ・ 通常 - 通常メッセージは、Dell Command | Update の通常モードが有効化されるとログファイルに作成されます。これらのメッセージは、アップデートに関する高レベルの詳細を提供します。
- ・ デバッグ - デバッグメッセージは、Dell Command | Update でデバッグモードが有効化されるとログファイルに作成されます。これらのメッセージは、アップデートまたはエラーに関する詳細を提供します。


ActivityLog.xml は、システムの次の場所に XML 形式のテキストファイルとして保存されます：

- ・ Microsoft Windows Vista 以降を搭載したシステムの場合 - `C:\ProgramData\Dell\CommandUpdate`

ログのルート要素には、システムにインストールされている製品の名前とバージョンが含まれます。ルート要素の下の子要素は次のように表示されます。

表 1. ルート要素の下の子要素





| 要素名 | 説明 |
|-------------|---------------------|
| <level> | アクティビティログのレベル。 |
| <timestamp> | ログが作成されたときのタイムスタンプ。 |
| <source> | アプリケーション操作。 |
| <message> | ブログエントリの詳細情報。 |
| <data> | ログエントリの追加情報を示します。 |

 **メモ:** 上記要素の形式および内容はオペレーティングシステムに基づいており、ユーザーによる変更が可能です。



アクティビティログの表示とエクスポート


アクティビティログを表示およびエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. ようこそ画面で、**アクティビティログ** をクリックします。
アクティビティログ画面が表示されます。
デフォルトでは、過去7日、15日、30日間、90日、または、1年間に実行されたアクティビティが表示されます。ドロップダウンリストからは、期間を設定することができます。
2. ドロップダウンメニューから、Dell Command | Update がシステムで実行したアップデートを表示させたい日数を選択します。例えば、**過去15日** を選択すると、過去15日間に Dell Command | Update が実行したアップデートアクティビティを表示することができます。
3.  **メモ:** この操作を元に戻すことはできません。
(オプション) ログをクリアするには、**クリア** をクリックします。
4. (オプション)  をクリックして、アプリケーションエラーメッセージなどのメッセージログエントリに関する詳細情報を表示します。この情報は、エクスポートされたログファイルでも表示できます。
5. (オプション) エラーまたは障害ログエントリの横にある **注意** をクリックして、可能性のある破損または問題を回避する方法についての情報を表示します。
6.  **メモ:** 新しいバージョンが使用可能な場合は、**inventory.xml** ファイルが **dell.com/support** からアップデートされます。
(オプション) **エクスポート** をクリックして、アクティビティログを XML 形式で zip ファイルにエクスポートします。その zip ファイルには、**inventory.xml** ファイルも格納されます。
7. 日付またはメッセージタイプ順に列の順序を変更または並べ替えるには、 (日付 または **メッセージ**の横) をクリックします。
8. **保存** をクリックして変更を保存する、または **キャンセル** をクリックして前回保存された設定に戻します。
9. **閉じる** をクリックすると、ようこそ画面に戻ります。


Dell Command | Update — はじめに

Dell Command | Update を手動または自動で初めて起動するときは、Dell Command | Update セットアップ画面にアップデートの検出、確認、およびインストールのための次のセットアップオプションが表示されます。

表 2. セットアップオプション

| オプション | 説明 |
|--|---|
| はい、デフォルト設定で自動的に実行します (推奨) | デフォルト設定を使用し、アップデートを自動的にチェックします。デフォルト設定のリストを表示するには、 設定アイコン  をクリックして、 スケジュールタブのアップデートを自動的にチェックする でデフォルト設定を表示します。 |
| はい、自動で実行しますが、今すぐ設定を確認 / 編集します | 定期的に、アップデートを自動でチェックします。ユーザーの要件に基づいて、デフォルトの設定を変更することができます。このオプションを選択すると、 設定画面 が表示されます。 スケジュールタブ から、自動的にアップデートの確認を行うオプションを設定します。 |
| いいえ、今は Dell Command Update でアップデートを自動的にチェックしません | Dell Command Update はアップデートを自動的にチェックしません。 |

デル工場からシステムをお受け取りになったばかりの場合は、4 回目のシステム起動の後で Dell Command | Update が自動で起動し、使用可能なアップデートをスキャンします。この場合、よろこ画面にアップデートのチェック機能は提供されませんが、その代わりに使用可能なアップデートのリストが表示され、それらをインストールすることができます。

 **メモ: Dell Command | Update は、次の場合にのみ自動で起動します。**

- ・ Dell Command | Update が工場でインストールされている
- ・ Dell Command | Update が自動で起動する前に手動で起動されていない


Dell Command | Update ようこそ画面は次で構成されています。

1. [ヘッダバナー](#)
2. [左側ペイン](#)
3. [コンテンツ領域](#)

ヘッダバナー

ヘッダバナーには、製品の名前とバージョン番号、および様々なアクティビティのアイコンが含まれています。

表 3. ヘッダバナーのアイコン

| アイコン | 説明 |
|---|--|
|  | 各画面のヘルプを表示します (すべての画面の右上隅にあります)。 |
|  | 設定画面 が表示されます。 設定画面 では、ダウンロードしたアップデートの保管場所、アップデートチェックのスケジュー |

| アイコン | 説明 |
|------|---|
| | ール、アップデートのカスタマイズなどの Dell Command Update オプションをカスタマイズできます。 |
| — | アプリケーションを最小化します (すべての画面の右上隅にあります)。 |
| □ | アプリケーションを最大化します (すべての画面の右上隅にあります)。 |
| × | アプリケーションを閉じます (すべての画面の右上隅にあります)。 |

左側ペイン

次の表に、左ペインにある使用可能なオプションとその説明を示します。

表 4. 左側ペイン

| オプション | 説明 |
|--------------|--|
| システムモデル | Dell システムのイメージとモデルを表示します。 |
| サービスタグ | システムの製造元によって提供された製品 ID です。 |
| 最後のチェック | システムが最後にアップデートをチェックした日時に関する情報を提供します。 |
| 最後の更新 | システムが最後にアップデートされた日時に関する情報を提供します。 |
| アップデート履歴 | アップデート履歴 画面を表示します。 「アップデート履歴」 を参照してください。 |
| システム情報 | システム情報 画面を表示します。 システム詳細の表示とエクスポート を参照してください。 |
| アクティビティログ | アクティビティログ 画面を表示します。 アクティビティログ を参照してください。 |
| ご意見をお聞かせください | Dell Command Update についてのフィードバックと満足度評価をご提供いただけるオンラインアンケートが起動します。 |

コンテンツ領域

コンテンツ領域からアップデートをチェックしてインストールできます。

詳細については、[アップデートのチェックとインストール](#)を参照してください。

高度なドライバの復元

Windows 再インストールのための高度なドライバの復元 オプションを使用することにより、オペレーティングシステム、ネットワークアダプタ (互換性のあるネットワークドライバ搭載)、および Dell Command | Update のインストールのみが含まれる新品または整備済みシステムにドライバをインストールすることもできます。

詳細については、「[ドライブライブラリのダウンロードとインストール](#)」を参照してください。

Dell Command | Update の使用

ドライバライブラリのダウンロードとインストール

ドライバライブラリを Dell システムにダウンロードしてインストールするには、次の手順を実行します。

1. ようこそ 画面で **ここをクリックして完全なドライバライブラリをダウンロードしてインストールする** をクリックします。
 - ドライバ復元の準備中 画面が表示されます。ドライバインストールタスクには、次のタスクが含まれます。
 - ・ コンポーネントアップデートのチェック — 使用可能なドライバライブラリをチェックします。
 - ・ システムデバイスのスキャン — システムをスキャンして、システム上に存在する様々なデバイスに関する情報を収集します。
 - ・ システムドライバライブラリの検索 — システム上のドライバライブラリを検索し、ドライバのバージョンをチェックして、システム用に使用できるドライバアップデートを判断します。
 - ・ ダウンロードの開始 — システム用に使用できるドライバアップデートを判断し、それらのダウンロードを開始します。
 - ・ ドライバの抽出 — アップデートがダウンロードされたら、システムへのインストールのためにそれらを解凍します。
 - ・ インストールの準備 — オペレーティングシステムでのデジタル署名検証、および復元ポイントの作成に関する進捗状況を示します。
 - ・ ドライバのインストール — y の x 形式でインストールステータスを表示します。ここで「x」はインストールされているドライバの数、「y」は使用可能ドライバの合計数です。**システムを自動的に再起動する (必要な場合)** チェックボックスを選択して、ドライバのインストール後にシステムを自動で再起動します。
 - ・ インストール完了 — y の x が正常に行われました という形式でドライバインストールの完了を示します。ここで「x」はインストールされたドライバの数、「y」は使用可能なドライバの数です。

このアクティビティを終了するには、**キャンセル** をクリックして **ようこそ** 画面に戻ります。
2. ドライバのインストール完了後、**閉じる** をクリックして **ようこそ** 画面に戻ります。

システムドライバの最新バージョンへのアップデートについての詳細は、「[アップデートのチェックとインストール](#)」を参照してください。

アップデートのチェックとインストール

アップデートをチェックして Dell システムにインストールするには、次の手順を実行してください。

1. ようこそ 画面で、**チェック** をクリックします。

Inventory Collector は、自己完結型のアプリケーションで、デバイスのハードウェア情報を取得するのに使用されます。Inventory Collector は、BIOS、ファームウェア、およびドライバのインベントリステータスを収集します。インベントリステータスは XML 形式で提供されています。Inventory Collector は、インベントリモジュールをシステムのローカルドライブの一時的な場所にコピーし、ネットワーク接続が失われても、インベントリステータス収集が実行されるようにします。

 - a. Dell Command | Update は、ftp.dell.com または設定したその他のソースの場所に接続し、アップデートの有無をチェックします。
 - b. **キャンセル** をクリックすると、アップデートをチェックせずに前の画面に戻ります。ソースの場所の変更についての情報は、「[一般設定](#)」を参照してください。

アップデートの確認 タスクが開始し、**アップデートの確認** 画面が表示されます。

アップデートの確認 タスクには、次の内容が含まれます。



- ・ コンポーネントのアップデートのチェック
- ・ システムデバイスのスキャン
- ・ 使用可能なアップデートのチェック

アップデートのチェック 画面には、システムスキャンの状態が表示されます。アップデートが見つかり、Dell Command | Update によってアップデートをインストールするためのプロンプトが表示されます。

アップデートが見つからない場合は、**使用可能なアップデートがありません** 画面が表示され、システム上のデバイスが最新状態であることを示します。**閉じる** をクリックして Dell Command | Update を終了します。

アップデートの可用性とユーザーが設定したプリファランスに基づいて、No updates available メッセージが表示されます。この No updates available メッセージは、次のような場合に表示されます：

- ・ デフォルトの **ダウンロードフィルタ** プリファランスを維持しており、使用できるアップデートがない場合。
- ・ すべての使用可能なアップデートを非表示として選択する場合。
選択のカスタマイズ 画面でアップデートを表示するには、**表示** をクリックします。**閉じる** をクリックして、**選択したアップデート** 画面に戻ります。

デフォルトの **ダウンロードフィルタ** プリファランスを変更した場合、および使用できるアップデートがない場合には、No updates are available (Based on the current 'Download Filter' preference settings) というメッセージが表示されます。

アップデートが見つかった場合は、**選択したアップデート** 画面が表示されます。詳細に関しては、「[アップデートの選択](#)」を参照してください。

2. **カスタマイズ** をクリックして、システムにインストールするアップデートを選択します。**選択のカスタマイズ** 画面が表示されます。
 - a. 以前非表示だったアップデートを表示するには、**非表示のアップデートを表示する** を選択します。
 - b. **閉じる** をクリックして、前の画面に戻ります。

詳細に関しては、「[アップデートのカスタマイズ](#)」を参照してください。
3. (オプション) アップデートをインストールした後で Dell Command | Update に自動でシステムを再起動させるには、**システムを自動的に再起動する (必要な場合)** を選択します。
4. **インストール** をクリックして、選択したアップデートをシステムにインストールします。
5.  **メモ:** キャンセルをクリックしても、**Dell Command | Update** はすでに適用されたアップデートをロールバックしません。


アップデートをキャンセルして **よろこ** 画面に戻るには、インストール中に **キャンセル** をクリックします。

新規または再生システムにアップデートをインストールするには、「[高度なドライバ復元設定](#)」を参照してください。

アップデートの選択

よろこ 画面で **チェック** をクリックすると、**アップデートのチェック** タスクが実行され、システム用に使用できるアップデートがあれば、**選択したアップデート** 画面が表示されます。アップデートサマリが update type <x of y, z MB> 形式で見出しの横に表示されます。ここで、「x」はダウンロードされたアップデートの数、「y」は使用できるアップデートの合計数、「z」は使用可能なアップデートのサイズ (MB) となります。アップデートは、重要度に基づいて次のように分類されます。

- ・ **重要なアップデート** - これらのアップデートは、システムの信頼性および可用性の向上のために重要です。
- ・ **推奨されるアップデート** - これらのアップデートのシステムへのインストールは推奨されます。
- ・ **オプションのアップデート** - これらのアップデートは、オプションのアップデートです。
- ・ **Dell ドッキングソリューション** - これらのアップデートは Dell ドッキングソリューション用です。

 **メモ: Dell ドッキングソリューションのオプションが選択されている場合:**

- Dell ドッキングソリューション用のアップデートの選択を、**選択のカスタマイズ**画面から解除することはできません。
- **自動的にシステムを再起動 (必要な場合)** オプションが選択されており、選択解除できません。
- システムは複数回再起動して、インストールを続行する場合があります。
- 1つまたは複数のカテゴリ (重要、推奨、任意) が選択されていて、アップデートが Dell ドッキングソリューションの一部である場合は選択解除できません。
- Dell ドッキングソリューション用に利用可能なアップデートがない場合は、Dell ドッキングステーションのオプションは表示されません。

インストールする必要があるアップデートに、そのアップデートの中間バージョンが必要である場合は、警告が表示されます。アップデートに複数のコンポーネント間における依存関係がある場合、Dell Command | Update はできるだけ新しいバージョンをインストールしますが、これは最新バージョンではないことがあります。このタスクでは、アップデートの最新バージョンのインストールのために、複数のアップデートサイクルが必要となります。詳細については、「[依存関係インストール](#)」を参照してください。

お使いのシステムで BitLocker が有効になっているために一部のアップデートがブロックされていると、警告が表示されます。インストールを続行するには、コントロールパネルをクリックして、BitLocker を一時停止します。BitLocker は、システムへのアップデートのインストール後に再開することが推奨されます。

電源アダプタをシステムに接続しなければ一部のアップデートをインストールすることができない場合、警告が表示されません。

アップデートのカスタマイズ

選択されたアップデート画面で**カスタマイズ**をクリックして**選択のカスタマイズ**を表示します。この画面には、システムに適用するアップデートの選択に役立つコンポーネントの名前、サイズ、およびリリース日などの使用可能な全アップデートの詳細情報が、その他の情報と共にリストされます。アップデートは、割り当てられている重要度に基づいてグループ化されています。

表 5. 選択のカスタマイズオプション

| ユーザーインターフェース | 説明 |
|-----------------------|--|
| 重要なアップデート (x/y、サイズ) | システムに適用できる重要なアップデートを表示します。重要アップデートの選択を変更することもできます。アップデートには次の情報が含まれています。 <ul style="list-style-type: none">・ アップデートの名前。・ アップデートのサイズ - アップデートのダウンロードに必要なバイト数の概算を表示します。・ アップデートパッケージが最後にリリースされた日付を表示します。・ 中間アップデートが必要な場合は、警告メッセージが表示されます。詳細については、詳細の表示上でマウスオーバーしてください。アップデートパッケージのさらなる詳細を提供する |
| 推奨アップデート (x/y、サイズ) | システムで使用可能な推奨されるアップデートが表示されます。アップデートには、以下の情報が含まれています。 <ul style="list-style-type: none">・ アップデートの名前。・ アップデートのサイズ - アップデートのダウンロードに必要なバイト数の概算を表示します。・ アップデートパッケージが最後にリリースされた日付を表示します。・ 中間アップデートが必要な場合は、警告メッセージが表示されます。詳細については、詳細の表示上でマウスオーバーしてください。アップデートパッケージのさらなる詳細を提供する |
| オプションアップデート (x/y、サイズ) | システムで使用可能なオプションのアップデートが表示されます。アップデートには、以下の情報が含まれています。 |












| ユーザーインターフェース | 説明 |
|--------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> アップデートの名前。 アップデートのサイズ - アップデートのダウンロードに必要なバイト数の概算を表示します。 アップデートパッケージが最後にリリースされた日付を表示します。 中間アップデートが必要な場合は、警告メッセージが表示されます。詳細については、詳細の表示上でマウスオーバーしてください。アップデートパッケージのさらなる詳細を提供する |
| 非表示アップデートの表示 | このチェックボックスにチェックを入れて非表示アップデートを表示します。  は非表示アップデートを示します。アップデートに対応するアイコンをクリックして、使用可能なアップデートのリストに表示します。 |
| すべて選択 | すべての重要、推奨、オプションアップデートをインストールします。  メモ: 一部のアップデートは、電源アダプタがシステムに接続されていなければインストールできません。 |

表 6. 選択のカスタマイズオプション

| ユーザーインターフェース | 説明 |
|---|---|
|  | このアイコンがアップデートの横に表示されている場合は、アップデートをパッケージを適用するために電源アダプタをシステムに接続してください。これはノートブックまたはタブレットシステム上の BIOS およびファームウェアアップデートのみに限られます。 |
|  | アップデートの横にこのアイコンが表示される場合は、アップデートパッケージの適用のために、お使いのシステムのコントロールパネルから BitLocker を一時停止してください。  メモ: BitLocker は、システムへのアップデートのインストール後に再開することが推奨されます。 |
|  | このアイコンをクリックしてアップデートを非表示にします。特定のコンポーネントアップデートを非表示にして、非表示にするよう選択したアップデートが今後のシステムスキャンにリストされないようにします。非表示のアップデートを表示するチェックボックスを選択して非表示のアップデートを表示すると、アイコンが  。  メモ: アップデートを非表示にすると、利用可能なアップデートはありません画面が表示されます。表示をクリックして選択のカスタマイズ画面上にアップデートを表示し、閉じるをクリックして選択したアップデート画面に戻ります。 |
|  | これをクリックして、アップデートパッケージについての追加詳細情報を示すツールチップを表示します。 |
|  | これをクリックしてアップデートパッケージの dell.com/support ウェブページを開き、完全な詳細を表示します。 |
|  | このアイコンがアップデートの横に表示されている場合は、ソリューションアップデートの一部であることを示しています。 |

アップデートの横にあるチェックボックスを使用して、アップデートパッケージを選択または選択解除します。このチェックボックスは、**選択のカスタマイズ**画面の全アップデートの選択を切り替えます。


依存関係のインストール

Dell Command | Update は、アップデートパッケージを使用してシステム用の最新アップデートを判断します。アップデートパッケージには、BIOS、ファームウェア、ドライバ、およびソフトウェアの機能の強化や変更が含まれます。通常、アップ

データは自立しており、ブレインストールを実行して適切な依存関係を維持します。ただし、ここで説明されている通りアップデートに依存性がある場合があります。


- ・ **コンポーネント間の依存関係**：これらのアップデートは同じアップデートタイプ (BIOS) であり、複数のスキャンおよびアップデートが必要な特定の順序でインストールまたはアップデートする必要があります。


たとえば、お使いのシステムにバージョン A01 の BIOS がインストールされており、アップデート用にバージョン A05 が使用可能であるとします。まず最初にシステムをバージョン A03 にアップデートする必要があります。Dell Command | Update は、システムをバージョン A03 にアップデートしてから、バージョン A05 にアップデートできます。


 **メモ**: システムをユーザーが開始し完全に利用可能な最新のバージョンにアップデートするのに、複数のアップデートサイクルが必要です。

- ・ **コンポーネント間の依存関係**：コンポーネントのアップデートに異なるアップデートタイプの別の依存コンポーネントのアップデートが必要な場合は、選択したコンポーネントを推奨バージョンにアップデートする前に、依存コンポーネントをアップデートする必要があります。

たとえば、お使いのシステムにファームウェアのアップデートが必要かを検討します。しかし、システムのファームウェアをアップデートするには、最初にシステムの BIOS を最低限必要なバージョンにアップデートする必要があります。システムのファームウェアをアップデートする前に、Dell Command | Update はシステムの BIOS を必要なバージョンにアップデートします。


 **メモ**: システムをアプリケーションが開始し完全に利用可能な最新のバージョンにアップデートするのに、複数のアップデートサイクルが必要です。

-  **メモ**: インストールするアップデートに依存関係がある場合、**Dell Command | Update** はアップデートプロセス中に重要アラートで通知を行います。

-  **メモ**: 非依存および相互依存アップデートは、内部依存アップデートの前にインストールされます。

非表示のアップデート


非表示のアップデート機能では、省略するアップデートを指定し、使用可能なアップデートのリストからそれらを削除することができます。非表示のアップデートは、**非表示アップデートの表示** チェックボックスを選択することによって、**選択のカスタマイズ** 画面で表示することができます。

-  **メモ**: 使用可能なアップデートの前提条件である以前のバージョンのインストールが非表示になっている場合、システムはそれ以降のアップデートを表示しません。最新バージョンをインストールするには、以前のバージョンを表示してインストールする必要があります。

次回スキャンの実行で特定タイプのアップデートを除外するには、**アップデートフィルタ** 設定を使用します。詳細については「[アップデートフィルタの設定](#)」を参照してください。


使用可能なアップデートのリストからのアップデートの削除

使用可能なアップデートのリストからアップデートを削除するには、次の手順を実行します。

1. **選択のカスタマイズ** 画面で、 をクリックします。
アップデートが使用可能なアップデートのリストから削除されます。このアップデートは、次のシステムスキャン実行時には使用可能なアップデートのリストに表示されません。
2. **閉じる** をクリックして、**選択されたアップデート** 画面に戻ります。

使用可能なアップデートのリストへのアップデートの復元

使用可能なアップデートのリストにアップデートを復元するには、次の手順を実行します。


1. **選択のカスタマイズ** 画面で、 をクリックします。
アップデートが使用可能なアップデートのリストに復元されます。
2. **閉じる** をクリックして、**選択されたアップデート** 画面に戻ります。

アップデート履歴

システムに以前インストールされたアップデートの詳細は、**アップデート履歴** 画面で確認できます。詳細には、コンポーネントの名前、コンポーネントの種類、アップデートされた日付、システムで利用可能なコンポーネントの現在または最新バージョンが含まれます。アップデートをインストールすると、Dell Command | Update 必ずオペレーティングシステム内に Dell アップデートと呼ばれる復元ポイントが作成されます。復元ポイントは、アップデートをシステムのファイル、インストールされたアプリケーション、Windows レジストリに戻すために使用できるタイムスタンプです。復元ポイントのリストは、**システムの復元** ウィンドウで確認できます。

システムの復元

システムの復元 ウィンドウを使用しても、システムに行った一連のアップデートを元に戻すことができます。

 **メモ:** BIOS またはファームウェアのアップデートは、ハードウェアに保存されるため、**システムの復元** ウィンドウを使用しても元に戻すことはできません。

アップデートの履歴の表示

アップデートの履歴を表示するには、次の手順を実行します。

1. ようこそ 画面で、**アップデートの履歴** をクリックします。
アップデートの履歴 画面が表示されます。
複数のアップデートが存在する場合は、各行の長さをそれぞれ変更して詳細を表示することができます。
2. **閉じる** をクリックして、ようこそ 画面に戻ります。

システム情報の表示とエクスポート

システム詳細を表示およびエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. ようこそ 画面で、**システム情報** をクリックします。
システム情報 画面にはシステムの詳細情報が表示されます。
2. **システム詳細のエクスポート** をクリックすると、システムの詳細が XML 形式で保存されます。
3. **閉じる** をクリックすると、ようこそ 画面に戻ります。

Dell Command | Update コマンドラインインタフェースオプション

コマンドラインインタフェース (CLI) は、管理者がアップデートのために自動リモート展開インフラストラクチャを使用することを可能にします。コマンドラインインタフェースは基本オプションを提供し、アプリケーションの GUI バージョンがサポートする機能のすべては含まれません。

Dell Command | Update は、バッチおよびスクリプティングシナリオでの使用のために、アプリケーションのコマンドラインバージョンを提供します。CLI は完全自動化されており、インタラクティブなユーザープロンプトはありません。カタログの場所の設定、新しいポリシーファイルのインポート、デフォルトログの場所の変更などの基本的なランタイムオプションがコマンドラインパラメータとして提供されています。

CLI インタフェースを実行する : Dell Command | Update インストールフォルダから、コマンドプロンプトで `dcu-cli.exe` を実行します。

どのオプションを使用できるかについての追加情報を表示する : Dell Command | Update インストールフォルダから、コマンドプロンプトで `dcu-cli.exe -?` を実行します。

Dell Command | Update CLI は、実行完了後に次のリターンコードを提供します。

- 0 = OK/ 成功

- ・ 1 = 再起動が必要
- ・ 2 = 致命的なエラー
- ・ 3 = エラー
- ・ 4 = 無効なシステム
- ・ 5 = 再起動とスキャンが必要

dcu-cli.exe を実行するときにパラメータが提供されていない場合は、使用可能なアップデートのチェック、ダウンロード、およびインストールがデフォルト動作となります。

メモ:

- ・ 一部のアップデートは、電源アダプタがシステムに接続されていないとインストールできません。
- ・ 一部のアップデートがインストールの完了に再起動を必須とする場合でも、自動的にシステムが再起動することはありません。

CLI リファレンス

次の表には、Dell Command | Update で使用できる CLI オプションについての情報がリストされています。

CLI 構文は次のとおりです。

dcu-cli.exe <option1> [<value1>] <option2> [<value2>]...


表 7. CLI リファレンス

| CLI オプション | 説明 | 構文 |
|-----------|--|---|
| /? | すべての CLI オプションの使用方法を表示します。 | dcu-cli.exe /? |
| |  メモ: その他すべてのオプションは /? で無視されます。 | |
| /catalog | リポジトリとカタログファイルの場所を設定します。<value> はログディレクトリのパスです。 /catalog パラメータは、パスのリストを受け入れず、単一のパスのみを受け入れます。 複数のパスを含める場合、例えばバックアップの場所を持つ場合は、/policy オプションを使用します。 | dcu-cli.exe /catalog \ MyServer\MyRepositoryShare\ MyCatalog.xml マップされたドライブの場合 :dcu-cli.exe /catalog \\Z: MyRepositoryFolder\ MyCatalog.xmlMyServer\ MyRepositoryShare\ MyCatalog.xml |
| /help | すべての CLI オプションの使用方法を表示します。 | dcu-cli.exe /help |
| /log | ファイルディレクトリを設定します。<value> はログディレクトリのパスです。 | dcu-cli.exe /log C:\logs |
| /policy | 1回の実行時間の長さに対する設定を決定するポリシーファイルを指定します。<value> はポリシーのパスです。 ポリシーファイルには、1つ、または複数の CLI のパスを含めることができます。 | dcu-cli.exe /policy C:\temp\ MyPolicy.xml |
| /import | ポリシーファイルをインポートします。ファイルを指定するには、/policy オプションが必要です。 | dcu-cli.exe /import /policy C:\temp\MyPolicy.xml |



| CLI オプション | 説明 | 構文 |
|-----------------------|--|---|
| |  メモ: このオプションは他のオプションと併用できません。 | |
| /reboot | システムが自動的に再起動します (更新が必要な場合)。 | dcu-cli.exe /reboot |
| /silent | CLI オプションをサイレントに実行します (状態出力は表示されません)。 | dcu-cli.exe /silent |
| /hidden | 現在の非表示アップデートのリストを表示します。 | dcu-cli.exe /hidden |
| |  メモ: このオプションは他のオプションと併用できません。 | |
| /driverRestore | ドライバの再インストールを有効にします。ローカルの CAB ファイルを使用するには、cab パスを指定します。 | /driverRestore または /driverRestore <path_to_cab> |
| |  メモ: パスが指定されていない場合、 Dell Command Update はシステム設定に固有の Dell cab ファイルを使用します。 | |
| /addToIgnoreList | デバイスを無視リストに追加します。無視リストに追加されたデバイスはアップデートされないため、レポートに表示されません。<value> はコンポーネント ID です。 | dcu-cli.exe /addToIgnoreList <ComponentID> |
| /removeFromIgnoreList | 無視リストからデバイスを削除します。<value> はコンポーネント ID です。 | dcu-cli.exe /removeFromIgnoreList <ComponentID> |
| /deleteIgnoreList | 無視リストからすべてのデバイスを削除します。 | dcu-cli.exe /deleteIgnoreList |
| /report | 使用可能なアップデートのみ表示するレポート (XML 形式) を生成します (アップデートは実行されません)。<value> はレポート出力ファイルのファイルパスです。 | dcu-cli.exe /report <path_to_report_file> |
| /reportAll | すべてのアップデートを表示するレポート (XML 形式) を生成します。このレポートには、無視リストからのアップデートも含まれます。<value> はレポート出力ファイルのファイルパスです。 | dcu-cli.exe /report <path_to_report_file> /reportAll |
| /reportIgnoreList | 無視リストの使用可能なデバイスを表示するレポート (XML 形式) を生成します。<value> は無視リストレポート出力ファイルのファイルパスです。 | dcu-cli.exe /reportIgnoreList <path_to_report_file> |
| /reportISV | 使用可能な ISV アップデートのみ表示するレポート (XML 形式) を生成します (アップデートは実行されません)。<value> はレポート出力ファイルのファイルパスです。 | dcu-cli.exe /reportISV <path_to_report_file> |
| /forceUpdate | バージョン番号に関わらず選択した 1 つのアップデートを強制的にインストールします。<value> は、アップデートのリリース ID です。 | dcu-cli.exe /forceUpdate <ReleaseID> |

| CLI オプション | 説明 | 構文 |
|-----------|----|----|
|-----------|----|----|

 **メモ:** アップデートは、無視リストからでも選択できます。


/version Dell Command | Update バージョン情報を表示し dcu-cli.exe /version
 ます。

コマンド例

- リポジトリまたはカタログファイルの場所を設定する場合：
`<c:\catalog.xml>:dcu-cli.exe /catalog c:\catalog.xml`
- 新しいポリシーファイルをインポートする場合：
`<c:\log.txt>: dcu-cli.exe /policy c:\log.txt`

CLI スイッチの組み合わせの使用

このセクションでは、Dell Command | Update CLI の各スイッチを組み合わせるときに、予期される動作について説明します。

 **メモ:**

- `/?` と `/help` スイッチを、他のスイッチと組み合わせることはできません。
- `/import` と `/hidden` スイッチを、他のスイッチと組み合わせることはできません。
- `/silent` と `/log` スイッチを、それ以外の他のスイッチと組み合わせることはできません。

表 8. Dell Command | Update CLI スイッチの組み合わせマトリックス

| スイッチ | サポートされる | サポートされない |
|--|---|--|
| <code>/?</code> または <code>/help</code> | なし | <ul style="list-style-type: none"> <code>/addToIgnoreList</code> <code>/catalog</code> <code>/deleteIgnoreList</code> <code>/driverRestore</code> <code>/forceUpdate</code> <code>/help</code> <code>/hidden</code> <code>/import</code> <code>/log</code> <code>/policy</code> <code>/reboot</code> <code>/removeFromIgnoreList</code> <code>/report</code> <code>/reportAll</code> <code>/reportIgnoreList</code> <code>/reportISV</code> <code>/silent</code> <code>/version</code> |
| <code>/addToIgnoreList</code> | <ul style="list-style-type: none"> <code>/catalog</code> <code>/silent</code> | <ul style="list-style-type: none"> <code>/addToIgnoreList</code> <code>/deleteIgnoreList</code> <code>/driverRestore</code> <code>/forceUpdate</code> <code>/help</code> <code>/hidden</code> <code>/import</code> <code>/log</code> |



| スイッチ | サポートされる | サポートされない |
|--------------------------|--|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ /policy ・ /reboot ・ /removeFromIgnoreList ・ /report ・ /reportAll ・ /reportIgnoreList ・ /reportISV ・ /version |
| /catalog | <ul style="list-style-type: none"> ・ /addToIgnoreList ・ /forceUpdate ・ /log ・ /policy ・ /reboot ・ /report ・ /reportAll ・ /silent | <ul style="list-style-type: none"> ・ /catalog ・ /deleteIgnoreList ・ /driverRestore ・ /help ・ /hidden ・ /import ・ /removeFromIgnoreList ・ /reportIgnoreList ・ /reportISV ・ /version |
| /deleteIgnoreList | <ul style="list-style-type: none"> ・ /silent | <ul style="list-style-type: none"> ・ /addToIgnoreList ・ /catalog ・ /deleteIgnoreList ・ /driverRestore ・ /forceUpdate ・ /help ・ /hidden ・ /import ・ /log ・ /policy ・ /reboot ・ /removeFromIgnoreList ・ /report ・ /reportAll ・ /reportIgnoreList ・ /reportISV ・ /version |
| /driverRestore | <ul style="list-style-type: none"> ・ /log ・ /reboot ・ /silent | <ul style="list-style-type: none"> ・ /addToIgnoreList ・ /catalog ・ /deleteIgnoreList ・ /driverRestore ・ /forceUpdate ・ /help ・ /hidden ・ /import ・ /policy ・ /removeFromIgnoreList ・ /report ・ /reportAll |

| スイッチ | サポートされる | サポートされない |
|---------------------|--|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ /reportIgnoreList ・ /reportISV ・ /version |
| /forceUpdate | <ul style="list-style-type: none"> ・ /catalog ・ /reboot ・ /silent | <ul style="list-style-type: none"> ・ /addToIgnoreList ・ /deleteIgnoreList ・ /driverRestore ・ /forceUpdate ・ /help ・ /hidden ・ /import ・ /log ・ /policy ・ /removeFromIgnoreList ・ /report ・ /reportAll ・ /reportIgnoreList ・ /reportISV ・ /version |
| /hidden | なし | <ul style="list-style-type: none"> ・ /addToIgnoreList ・ /catalog ・ /deleteIgnoreList ・ /driverRestore ・ /forceUpdate ・ /help ・ /hidden ・ /import ・ /log ・ /policy ・ /reboot ・ /removeFromIgnoreList ・ /report ・ /reportAll ・ /reportIgnoreList ・ /reportISV ・ /silent ・ /version |
| /import | <ul style="list-style-type: none"> ・ /policy | <ul style="list-style-type: none"> ・ /addToIgnoreList ・ /catalog ・ /deleteIgnoreList ・ /driverRestore ・ /forceUpdate ・ /help ・ /hidden ・ /import ・ /log ・ /reboot ・ /removeFromIgnoreList |

| スイッチ | サポートされる | サポートされない |
|------------------------------|---|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ /report ・ /reportAll ・ /reportIgnoreList ・ /reportISV ・ /silent ・ /version |
| /log | <ul style="list-style-type: none"> ・ /catalog ・ /driverRestore ・ /policy ・ /reboot ・ /report ・ /reportAll ・ /silent | <ul style="list-style-type: none"> ・ /addToIgnoreList ・ /deleteIgnoreList ・ /forceUpdate ・ /help ・ /hidden ・ /import ・ /log ・ /removeFromIgnoreList ・ /reportIgnoreList ・ /reportISV ・ /version |
| /policy | <ul style="list-style-type: none"> ・ /catalog ・ /log ・ /import ・ /reboot ・ /report ・ /reportAll ・ /silent | <ul style="list-style-type: none"> ・ /addToIgnoreList ・ /deleteIgnoreList ・ /driverRestore ・ /forceUpdate ・ /help ・ /hidden ・ /policy ・ /removeFromIgnoreList ・ /reportIgnoreList ・ /reportISV ・ /version |
| /reboot | <ul style="list-style-type: none"> ・ /catalog ・ /driverRestore ・ /forceUpdate ・ /log ・ /policy ・ /report ・ /reportAll ・ /silent | <ul style="list-style-type: none"> ・ /addToIgnoreList ・ /deleteIgnoreList ・ /help ・ /hidden ・ /import ・ /reboot ・ /removeFromIgnoreList ・ /reportIgnoreList ・ /reportISV ・ /version |
| /removeFromIgnoreList | <ul style="list-style-type: none"> ・ /silent | <ul style="list-style-type: none"> ・ /catalog ・ /help ・ /log ・ /policy ・ /import ・ /reboot ・ /hidden ・ /driverRestore |

| スイッチ | サポートされる | サポートされない |
|--------------------------|---|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ /addToIgnoreList ・ /removeFromIgnoreList ・ /deleteIgnoreList ・ /report ・ /reportAll ・ /reportIgnoreList ・ /reportISV ・ /forceUpdate ・ /version |
| /report | <ul style="list-style-type: none"> ・ /catalog ・ /log ・ /policy ・ /reboot ・ /reportAll ・ /silent | <ul style="list-style-type: none"> ・ /addToIgnoreList ・ /deleteIgnoreList ・ /driverRestore ・ /forceUpdate ・ /help ・ /hidden ・ /import ・ /removeFromIgnoreList ・ /report ・ /reportIgnoreList ・ /reportISV ・ /version |
| /reportAll | <ul style="list-style-type: none"> ・ /catalog ・ /log ・ /policy ・ /reboot ・ /reportAll ・ /silent | <ul style="list-style-type: none"> ・ /addToIgnoreList ・ /deleteIgnoreList ・ /driverRestore ・ /forceUpdate ・ /help ・ /hidden ・ /import ・ /removeFromIgnoreList ・ /report ・ /reportIgnoreList ・ /reportISV ・ /version |
| /reportIgnoreList | <ul style="list-style-type: none"> ・ /silent | <ul style="list-style-type: none"> ・ /addToIgnoreList ・ /catalog ・ /deleteIgnoreList ・ /driverRestore ・ /forceUpdate ・ /help ・ /hidden ・ /import ・ /log ・ /policy ・ /reboot ・ /removeFromIgnoreList ・ /report ・ /reportAll |

| スイッチ | サポートされる | サポートされない |
|-------------------|--|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ /reportIgnoreList ・ /reportISV ・ /version |
| /reportISV | <ul style="list-style-type: none"> ・ /silent | <ul style="list-style-type: none"> ・ /addToIgnoreList ・ /catalog ・ /deleteIgnoreList ・ /driverRestore ・ /forceUpdate ・ /help ・ /hidden ・ /import ・ /log ・ /policy ・ /reboot ・ /removeFromIgnoreList ・ /report ・ /reportAll ・ /reportIgnoreList ・ /reportISV ・ /version |
| /silent | <ul style="list-style-type: none"> ・ /addToIgnoreList ・ /catalog ・ /deleteIgnoreList ・ /driverRestore ・ /forceUpdate ・ /log ・ /policy ・ /reboot ・ /removeFromIgnoreList ・ /report ・ /reportAll ・ /reportIgnoreList ・ /reportISV | <ul style="list-style-type: none"> ・ /help ・ /hidden ・ /import ・ /silent ・ /version |
| /version | なし | <ul style="list-style-type: none"> ・ /addToIgnoreList ・ /catalog ・ /deleteIgnoreList ・ /driverRestore ・ /forceUpdate ・ /help ・ /hidden ・ /import ・ /log ・ /policy ・ /reboot ・ /removeFromIgnoreList ・ /report ・ /reportAll |


| スイッチ | サポートされる | サポートされない |
|------|---------|---|
| | | <ul style="list-style-type: none">・ /reportIgnoreList・ /reportISV・ /silent・ /version |

Dell Command | Update 設定

設定画面では、アップデート、アップデートのフィルタオプション、アップデートのダウンロードのためのスケジュール、インターネットプロキシ、エクスポートまたはインポート設定をダウンロードして保管する場所、およびドライブライブラリをダウンロードする場所のための設定を行い、これらをカスタマイズすることができます。この画面には、次のタブがあります。


- ・ **一般** — アップデート、およびインターネットプロキシ設定をダウンロードして保管する場所の設定と変更についての情報は、「[一般設定の実行](#)」の項を参照してください。
- ・ **スケジュール** — システムアップデートのスケジュールの設定についての情報は、「[アップデートをチェックするためのスケジュール作成](#)」の項を参照してください。
- ・ **アップデートフィルタ** — スケジュールされたアップデートのフィルタオプションの変更と保存についての情報は、「[アップデートフィルタ設定の実行](#)」を参照してください。
- ・ **インポート/エクスポート** — インポートおよびエクスポート設定についての情報は、「[エクスポートまたはインポート設定](#)」を参照してください。
- ・ **詳細ドライバ復元** — ドライブライブラリをダウンロードする場所の設定についての情報は、「[詳細ドライバ復元設定の実行](#)」を参照してください。

デフォルトの復元をクリックして、すべての設定/カスタマイズを削除し、元のデフォルト設定に戻します。



 **メモ:** デフォルトの復元機能を使っても、ポリシーファイルのアップデートは元に戻りません。

一般設定

一般タブでは、アップデートを保管する場所、アップデートをダウンロードする場所を変更し、インターネットプロキシを設定または変更することができます。一般設定を行うには、次の手順を実行します。

1. バナーの見出しで、**設定** をクリックします。
設定画面が表示されます。
2.  **メモ:** Dell Command | Update は、アップデートのインストール後、この場所からアップデートファイルを自動的に削除します。

ダウンロードファイルの場所で、**参照** をクリックして、ダウンロードしたアップデートを保存するためのデフォルトの場所を設定するか、デフォルトの場所を変更します。
3. **アップデートソースの場所** の下で **新規** をクリックして、アップデートをダウンロードする場所を追加します。詳細については、「[アップデートソースの場所](#)」を参照してください。
4. **インターネットプロキシ** で、以下のいずれかを実行します。
 - ・ **現在のインターネットプロキシ設定を使用する** を選択して、システムで使用可能な現在のインターネットプロキシ設定を使用します。
 - ・ **カスタムプロキシ設定** を選択し、プロキシサーバーおよびポートを設定します。
5. **カスタムプロキシ設定** を選択し、かつプロキシ認証を使用する場合は、**プロキシ認証を使用する** チェックボックスを選択して、ユーザー名とパスワードの資格情報を入力します。


 **メモ:** ユーザー名とパスワードの資格情報は暗号化されて保存されます。
6.  **メモ:** Dell Command | Update が対話型実行で動作している場合、設定時刻後にスケジューラがアップデートをチェックするには Dell Command | Update を閉じる必要があります。これは、一度に実行できるのが1インスタンスのアプリケーションのみであること、およびスケジューラインスタンスが対話型インスタンスにブロックされるからです。

Ok をクリックして変更を保存するか、または**キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこ** 画面に戻ります。

アップデートソースの場所




アップデートソースの場所には、すべての設定済みソース場所のリストが表示されます。デフォルトの場所は **ftp.dell.com** ですが、Dell Command | Update 向けに複数のソース場所を追加して、アップデートへのアクセスを試行し、チェックすることができます。

ソースの場所を追加するには、**新規** をクリックしてファイルの場所に移動し、catalog.xml ファイルを選択します。選択したカタログファイルがソース場所のリストに追加されます。ソース場所エントリに関連する上下の矢印をクリックして、これらの場所の優先順位を決めます。リストからソース場所のパスを削除するには、**削除** アイコンをクリックします。

 **メモ: Dell Command | Update は、正常にロードした最初のソース場所 / カタログを使用します。Dell Command | Update がリストされた各ソース場所をロードして、内容を集約することはありません。**

アップデートチェックのスケジュール作成


システムのアップデートを自動でチェックするように Dell Command | Update を設定することができます。アップデートをチェックするためのスケジュールを設定するには、次の手順を実行します。

1. バナーの見出しで、**設定** をクリックします。
2. **設定** 画面で、**スケジュール** をクリックします。
3. **アップデートを自動的にチェック** → **アップデートのチェック** で、次のいずれかを選択します。
 - ・ **手動アップデートのみ** - アップデートを手動でチェックします。このオプションを選択した場合、Dell Command | Update はスケジュールされたアップデートを実行せず、このページの他のフィールドはすべて非表示になります。アップデートのチェックを手動で行うには、**よろこ** 画面で、**チェック** をクリックします。
 - ・ **毎月** - 毎月、アップデートのチェックを行います。Dell Command | Update でアップデートを毎月の指定した日時に自動的にチェックする場合は、これを選択します。
 - ・ **毎週** - 毎週、アップデートのチェックを行います。Dell Command | Update でアップデートを毎週の指定した日時に自動的にチェックする場合は、これを選択します。
 - a.  **メモ: 時刻および日付を選択するオプションは、毎月 および 毎週 オプションのみで使用することができます。**
 **メモ: Dell Command | Update は、このフィールドに設定された時刻から 30 分以内に、ランダムな間隔でアップデートをチェックします。**
 **メモ: 設定時刻後は、スケジューラによるアップデートのチェックのために Dell Command | Update を閉じる必要があります。**

時刻の選択 で、Dell Command | Update がアップデートをチェックする時刻を選択します。
 - b. **日付の選択** で、Dell Command | Update がアップデートをチェックする日を選択します。


たとえば、Dell Command | Update が毎月 1 日の午前 10 時にアップデートをチェックするようにするには、**アップデートのチェック** で **毎月** を選択し、**時刻の選択** で **10:00 AM**、**日付の選択** で **1** を選択します。
4. **アップデートが見つかったとき** で、アップデートが見つかったときに Dell Command | Update が実行する必要があるタスクを次から 1 つ選択します。
 - ・ 通知のみ (アップデートがある場合)
 - ・ アップデートをダウンロード (インストール準備が完了したら通知)
 - ・ アップデートをダウンロードしてインストール (完了後に通知)
5. **アップデートをダウンロードしてインストール (完了後に通知)** を選択した場合は、システムを自動的に再起動させるまでの時間間隔を選択します。
6. **Ok** をクリックして変更を保存するか、または**キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこ** 画面に戻ります。

アップデートをチェックするアクティビティをスケジュールした後でアップデートが使用可能になると、アップデートのリストが **インストールの準備完了** 画面に表示されます。

 **メモ:** スケジュールされたタスクを実行するには、**Dell Command | Update** を終了する必要があります。

アップデートフィルタ設定の実行

アップデートフィルタ タブで、アップデートのダウンロードおよび表示のためのフィルタを構成することができます。アップデートフィルタ設定を行うには、次の手順を実行します。

1. バナーの見出しで、**設定** をクリックします。
2. **設定** 画面で、**アップデートフィルタ** をクリックします。
3.  **メモ:** システムモデル向けの全アップデート オプションを使用してダウンロードされたアップデートには、お使いのシステムに適用されないものがある場合があります。
ダウンロード対象 から次のいずれかのオプションを選択します。
 - ・ **このシステム設定のアップデート (推奨)** — このオプションを選択して、お使いのシステムの設定に固有のアップデートをダウンロードします。
 - ・ **システムモデル向けの全アップデート** — このオプションを選択して、システムモデルがサポートする全デバイスのアップデートをダウンロードします。
4. **アップデートのカスタマイズ** で、アップデート推奨レベル、アップデートのタイプ、デバイスカテゴリを選択します。
5. **Ok** をクリックして変更を保存するか、または**キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこ** 画面に戻ります。

設定のエクスポートまたはインポート

インポート/エクスポート タブでは、構成設定を XML ファイル形式で保存することができます。XML ファイルを使用することにより、設定を別のシステムに設定を転送したり、設定を別のシステムからインポートすることもできます。これらの XML ファイルを使用して、組織内の Dell Command | Update インストールインスタンスすべてのために共通の構成設定を作成することができます。

構成設定をインポートまたはエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. バナーの見出しで、**設定** をクリックします。
2. **設定** 画面で、**インポート/エクスポート** をクリックします。
3. **設定のエクスポート** をクリックして、システムの Dell Command | Update 設定を XML 形式で保存します。この後、この XML ファイルを使って、設定を別のシステムにエクスポートすることができます。
4. **設定のインポート** をクリックして、以前にエクスポートされた設定の XML ファイルから Dell Command | Update 設定をインポートします。
5. **Ok** をクリックして変更を保存するか、または**キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこ** 画面に戻ります。

ポリシーファイル



ポリシーファイルでは、管理者がプログラム設定をロックして、他のユーザーが変更できないようにすることができます。ポリシーファイル内にプログラム設定が指定されていると、関連する設定が GUI で無効化されます。

ポリシーファイルの作成

ポリシーファイルを作成するには、次の手順を実行します。

1. サンプルシステムでスケジュール、プロキシ、およびフィルタなどの Dell Command | Update 設定を行った後、**設定のエクスポート** を使用してその設定をエクスポートします。設定のエクスポートについての詳細は、「[設定のインポート/エクスポート](#)」を参照してください。
これらの設定は、後ほど policy.xml ファイルとして設定したいクライアントシステムにインポートすることができます。
2. エクスポートした設定ファイル名を **policy.xml** に変更します。
3. **policy.xml** ファイルを開き、それを見直してロックしたい属性のみが含まれている事を確認します。

必要以上の設定がロックされている場合は、エクスポートした **policy.xml** ファイルからいくつかの設定を削除する必要があります。このファイルは、Dell Command | Update が使用できるようにインストールディレクトリに設置するようにしてください。

4.  **メモ:** **Dell Command | Update** はポリシーデータをロードしてポリシーファイルを削除するので、**policy.xml** ファイルは使用する前に別の場所に保存してください。保存したポリシーファイルは、ポリシー設定の変更に使用することができます。
-  **メモ:** ファイルを **policy.xml** と命名し、それをインストールディレクトリに設置することは、**Dell Command | Update** がそのファイルをインポートされるポリシーファイルとして認識するために必要です。

policy.xml ファイルを Dell Command | Update インストールディレクトリに設置し、アプリケーションを起動します。

policy.xml ファイルデータの例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-16"?> <dellcommandupdate version="1.0"
doctype="settings"> <setting name="filtercriticality_urgent">True</setting> <setting
name="scheduledexecution">On</setting> <setting name="schedulesdays">1</setting> <setting
name="scheduledminute">0</setting> <setting name="filterapplicable">ShowAllForPlatform</
setting> <setting name="scheduledhour">12</setting> <setting
name="scheduledfrequency">Monthly</setting> <setting name="automationmode">ScanNotify</
setting> </dellcommandupdate>
```

ポリシーファイルへの設定の追加

ポリシーファイルに設定を追加するには、次の手順を実行します。

1. 保存した **policy.xml** ファイルを XML エディタで開き、有効な名前と値で新しい `<setting>` エlementを追加します。
値の設定については、[設定と適用される値](#)表を参照してください。例: `<setting name="scheduledminute">30</setting>`
2. ファイルを XML ファイルとして保存して Dell Command | Update インストールディレクトリ内に設置し、アプリケーションを起動します。
 -  **メモ:** **Dell Command | Update** はポリシーデータをロードしてポリシーファイルを削除するので、**policy.xml** ファイルは使用する前に別の場所に保存してください。保存したポリシーファイルは、ポリシー設定の変更に使用することができます。
 -  **メモ:** ファイルを **policy.xml** と命名し、インストールディレクトリに設置することは、**Dell Command | Update** がそのファイルをインポートするポリシーファイルとして認識するために必須です。

設定と適用される値

表 9. 設定と適用される値

| 設定 | 適用される値 |
|-------------------------------|---|
| AutomationMode | ScanNotify、ScanDownloadNotify、ScanDownloadApplyNotify、または ScanDownloadApplyReboot |
| AutoReboot | True または False |
| AutoRebootSystemWait | 15、30、または 60 |
| Catalog | <カタログファイルへのパス > |
| DownloadPath | <ダウンロードディレクトリへのパス > |
| DriverCabPath | <ドライバ cab へのパス > |
| FilterApplicable | ShowAllForPlatform または ShowOnlyForSystemConfig |
| FilterCriticality_Optional | True または False |
| FilterCriticality_Recommended | True または False |





| 設定 | 適用される値 |
|--------------------------------|--------------------------------|
| FilterCriticality_Urgent | True または False |
| FilterDeviceCategory_Audio | True または False |
| FilterDeviceCategory_Chipset | True または False |
| FilterDeviceCategory_Input | True または False |
| FilterDeviceCategory_Network | True または False |
| FilterDeviceCategory_Other | True または False |
| FilterDeviceCategory_Storage | True または False |
| FilterDeviceCategory_Video | True または False |
| FilterUpdateType_Application | True または False |
| FilterUpdateType_Bios | True または False |
| FilterUpdateType_Driver | True または False |
| FilterUpdateType_Firmware | True または False |
| FilterUpdateType_Other | True または False |
| FilterUpdateType_Patch | True または False |
| FilterUpdateType_Utility | True または False |
| HiddenUpdatesList | アップデート ReleaseID のコンマ区切りリスト |
| IsAdvancedDriverRestoreEnabled | True または False |
| ProxyAuthenticationEnabled | True または False |
| ProxyEnabled | True または False |
| ProxyPassword | UI でのユーザーエントリによって作成された暗号化パスワード |
| ProxyPort | ユーザー指定のプロキシポート値 |
| ProxyServer | ユーザー指定のプロキシサーバー値 |
| ProxyUserName | ユーザー指定のプロキシユーザー名 |
| ScheduledDays | 1~7 |
| ScheduledExecution | Off または On |
| ScheduledFrequency | Weekly または Monthly |
| ScheduledHour | 1~24 |
| ScheduledMinute | 1~60 |
| ScheduledRebootWait | 5、15、または 60 |

ポリシーファイルからの設定の削除

ポリシーファイルから設定を削除するには、次の手順を実行します。

1. 保存した policy.xml ファイルを XML エディタで開きます。
2. 削除する必要がある設定の要素タグを削除します。
例: `<setting name="scheduledminute">30</setting>`
3. ファイルを XML ファイルとして保存して Dell Command | Update インストールディレクトリ内に設置し、アプリケーションを起動します。

-  **メモ:** Dell Command | Update はポリシーデータをロードしてポリシーファイルを削除するので、**policy.xml** ファイルは使用する前に別の場所に保存してください。保存したポリシーファイルは、ポリシー設定の変更に使用することができます。
-  **メモ:** ファイルを **policy.xml** と命名し、インストールディレクトリに設置することは、Dell Command | Update がそのファイルをインポートするポリシーファイルとして認識するために必須です。

詳細ドライバ復元の設定

詳細ドライバ復元 タブでは、新品または整備済みシステム用にドライブライブラリをダウンロードする場所を設定することができます。

詳細ドライバ復元設定を行うには、次の手順を実行します。

1. バナーの見出しで、**設定** をクリックします。
2. **設定** 画面で、**詳細ドライバ復元** をクリックします。
3. **有効** をクリックして有効化、または **ようこそ** 画面で **Windows 再インストールのための詳細ドライバ復元** オプションを無効化します。
この機能は、デフォルトで次のようになります。
 - ・ システムへの Dell Command | Update のインストール時に有効化されます。
 - ・ Dell Command | Update が工場出荷時にインストールされた場合は無効です。
 - ・ Dell Client System Update 1.3 から Dell Command | Update 2.0 以降にアップグレードすると、無効化されます。システムでのドライバのインストール後、この機能は無効になります。
4. 次のオプションのいずれかを選択します。
 - ・ **Dell アップデート/サポートサイトからドライブライブラリをダウンロード (推奨)** : **dell.com/support** からドライブライブラリをダウンロードします。
 - ・ **指定されたドライブライブラリを使用** : ローカルまたはネットワークの場所からドライブライブラリをダウンロードします。**参照** をクリックして場所を指定します。
5. **Ok** をクリックして変更を保存するか、または **キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **ようこそ** 画面に戻ります。

Dell サポートサイトからの文書へのアクセス

必要なドキュメントにアクセスするには、次のいずれかの方法で行います。

- ・ 次のリンクを使用します。
 - すべての Enterprise システム管理マニュアル — [Dell.com/SoftwareSecurityManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
 - OpenManage マニュアル — [Dell.com/OpenManageManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
 - リモートエンタープライズシステム管理マニュアル — [Dell.com/esmmanuals](https://www.dell.com/support/manuals)
 - iDRAC および Lifecycle Controller マニュアル - [Dell.com/idracmanuals](https://www.dell.com/support/manuals)
 - OpenManage Connection エンタープライズシステム管理マニュアル — [Dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement](https://www.dell.com/support/manuals)
 - Serviceability Tool マニュアル — [Dell.com/ServiceabilityTools](https://www.dell.com/support/manuals)
 - Client Command Suite システム管理マニュアル — [dell.com/DellClientCommandSuiteManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- ・ Dell サポートサイトから、
 - a. [Dell.com/Support/Home](https://www.dell.com/support/home) に移動します。
 - b. **製品の選択**セクションで、**ソフトウェアとセキュリティ**をクリックします。
 - c. **ソフトウェアとセキュリティ**グループボックスで、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - **エンタープライズシステム管理**
 - **リモートエンタープライズシステム管理**
 - **Serviceability Tools**
 - **Dell Client Command Suite**
 - **接続クライアントシステム管理**
 - d. ドキュメントを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。
- ・ 検索エンジンを使用します。
 - 検索ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

デルへのお問い合わせ

■ **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **Dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国 / 地域** の選択 ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。

付録 : Microsoft System Center Configuration Manager コンソールからの Dell Command | Update の使用

このセクションでは、Microsoft System Center Configuration Manager コンソールから Dell Command | Update を使用して、アップデートをインストールするためのベストプラクティスについて説明します。

 **メモ:** このセクションは IT 管理者を対象としており、**Microsoft System Center Configuration Manager**、タスクシーケンス、またはパッケージの導入プロセスの説明は本書の範囲外です。

バージョン 2.2 より前の Dell Command | Update の前提条件

以下は、Microsoft System Center Configuration Manager コンソールから Dell Command | Update を使用する場合の前提条件です。

1. 設定ファイルの作成

次のコンテンツを含む `C:\Programdata\Dell\CommandUpdate` で `MySettings.xml` を作成します。

```
<xml version="1.0" encoding="utf-16">
<dellcommandupdate version="1.0" doctype="settings">
<setting name="downloadpath">C:\ProgramData\Dell\CommandUpdatesetting
name="downloadpath"></setting>
</dellcommandupdate>
```

2. バッチファイルの作成

次のコンテンツを含む `C:\Programdata\Dell\CommandUpdate` で `RunDCU.cmd` を作成します。

```
start /wait "C:\Program Files (x86)\Dell\CommandUpdate\dcu-cli.exe" /import /policy C:
\ProgramData\Dell\CommandUpdate\MySettings.xml
if %ERRORLEVEL% == 0 goto RUNDCU
else goto QUITTASK
RUNDCU
"C:\Program Files (x86)\Dell\CommandUpdate\dcu-cli.exe" /log C:\ProgramData\Dell\DCU.log
/silent
:QUITTASK
exit /b %ERRORLEVEL%
```

Dell Command | Update バージョン 2.2 以降の前提条件

以下は、Microsoft System Center Configuration Manager コンソールから Dell Command | Update を使用する場合の前提条件です。

バッチファイルの作成

次のコンテンツを含む C:\Programdata\Dell\CommandUpdate で **RunDCU_2x.cmd** を作成します。

```
"C:\Program Files (x86)\Dell\CommandUpdate\dcu-cli.exe" /log C:\ProgramData\Dell\nDCU.log /silent
```

Microsoft System Center Configuration Manager からの Dell Command | Update の使用

Dell は、Microsoft System Center Configuration Manager コンソールから Dell Command | Update を使用してアップデートを完了するためのタスクシーケンスを作成することをお勧めします。

前提条件を作成します。

- ・ [設定ファイルの作成](#)
- ・ [バッチファイルの作成](#)

1. パッケージを作成するには、次の手順を実行します。
 - a. **アプリケーション管理** の下の **パッケージ** を右クリックして、**パッケージの作成** を選択します。
 - b. この **パッケージ** には **ソースファイルが含まれます** をクリックして、Dell Command | Update Dell アップデートパッケージを含むフォルダの詳細を提供します。
 - c. **Next (次へ)** をクリックします。
 - d. **標準プログラム** を選択し、**Next (次へ)** をクリックします。
 - e. お使いの環境に応じて、プログラムの詳細を提供します。
 - f. パッケージの作成が正常に終了するまで、**Next (次へ)** をクリックします。
2. Microsoft System Center Configuration Manager コンソールで、次の手順に従ってタスクシーケンスを作成します。
 - a. Dell Command | Update をインストールします。
 - b. Dell Command | Update を実行します。
 - c. システムを再起動します。
3. 手順 1 で作成したパッケージを、タスクシーケンスの手順 2a 「Dell Command | Update のインストール」に関連付けます。
4. 前提条件として作成したバッチファイルを、タスクシーケンス — **手順 2b 「Dell Command Update の実行」** に関連付けます。
 - ・ 2.2 より前のバージョンの場合は、バッチファイル — **RunDCU.cmd** を関連付けます
 - ・ 2.2 以降のバージョンの場合は、バッチファイル — **RunDCU_2x.cmd** を関連付けます

メモ:

- ・ タスクシーケンスの手順 2b は戻りコードによって複数回実行する必要がある場合があります。
 - ・ Dell Command | Update 2.2 以降では、アップデートを完了するのに複数回再起動が必要な場合があります。再起動プロセス中に、Dell Command | Update は必要なアップデートが適用され、ステータスを示す戻りコードを提供します。
 - ・ Dell Command | Update バージョン 2.2 以降の場合は、戻りコードが 0 になるまでタスクシーケンス手順を実行します。
 - ・ ログファイルを手動で分析することで、クライアントシステムがアップデートされたことを確認します。
5. クライアントの再起動をタスクシーケンスの手順 2c 「コンピュータの再起動」に関連付けます。